

暮らし

life



地域と人がつながる 深い信頼を築ける場所

行政区や各種団体などが
単独では解決できない課題や問題を、
校区の皆さんが協力して解決する「校区コミュニティ」。
お祭りや講習会、ボランティア派遣など
生活に関わるさまざまな分野の取り組みによって、
世代を超えたふれあいが生まれています。

須 恵 町

平成24年度 コミュニティ助成事業



地域とつながる取り組み

広がる町づくりの“輪”

地域住民が一体となって町づくりに取り組む「校区コミュニティ」では、住みよいエリアを構築するために至る場所でイベントを実施しています。子どもたちがつきたての餅を販売する「べったんフェア」（写真）は毎年、長い行列ができるほどの人気。ほか、校区まつりやお花見会、スポーツ大会などさまざまな取り組みを通して、住民相互の結びつきを深めています。



子どもたちの安全を守る

子どもたちの安全を守るための活動も盛んです。小学生を対象に行われている交通自転車教室もそのひとつです。自転車の交通ルールを、大人たちがやさしく指導。こうした活動のなかでも、地域のコミュニケーションは育まれています。



学校と地域の強いつながり



ボランティア派遣事業

多彩な技術や技能を持った人を募集し、毎年900人近いボランティアスタッフを学校や地域に派遣しています。伝承遊びや神楽などの魅力を伝える「歴史と伝統文化の伝承などの支援」、健康体操や軽スポーツなどを指導する「健康・スポーツ活動の支援」といったさまざまな事業を展開。社会参加による高齢者の生きがいづくり、生涯学習の促進、児童・生徒の豊かな感性の育成、学校の活性化・開かれた学校づくり、地域の教育機能の回復などを目指しています。

安全・安心な町づくり

全国大会出場歴を持つ消防団

全国消防操法大会で優れた実績を残すなど、高い技術を誇る須恵町の消防団。それぞれ本業の仕事を持ちながらも、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づいて活動。災害発生時はもちろん、平常時においても防火訓練や火災予防啓蒙活動など幅広く活躍しています。



「子ども110番の家」を設置

子どもが犯罪などに遭遇した際に、緊急避難できる場所を民家などに設置。安心して避難できるように、110番の家を巡る企画「子ども110番ウォークラリー」を実施しています。

防犯講習の実施

安心して生活できるように、青少年指導員会でパトロールの方法、声かけの実践などの講演会を実施しています。また、県と連携して広報やホームページなどで犯罪情報を提供しています。

interview

校区内を住みよいエリアに

「校区コミュニティでは、地域が交わる活動を積極的に展開しています。例えば、子どもたちが育てたもち米で餅を作り、自分たちの手で販売する「べったんフェア」。バックに手書きでコメントを記入するなど買ってもらうための工夫をし、それを並んでも買ってくれる人がいる。そんな学校では学べないことを経験することができるんです。移住してきた皆さんが地域に溶け込む機会でもあるんですよ。」



いきいきコミュニティ推進会議
事務局 米倉清美さん(左) 國崎薫さん(右)